

科目名	美術			担当教員	永井 崇幸		
学年	2年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	1
分野	一般	授業形式	実技	科目番号	11G02_20140	単位区別	履修
学習目標	構想画、デザイン画、あらゆる表現方法による絵画表現を通して、個々の創造力を伸ばし、豊かな感性と心情を養う。イメージを膨らませて、自主的に創造する価値と喜びを感じさせる。						
進め方	絵画表現を通して、独自のイメージを膨らませ、自己の表現を追求させる。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1.	構想画 ー理想都市を描く 着彩	(8)	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿ったイメージは、どのようにして引き出すことができるかを考える。 E6:1 ・CGの発達により、意識のないままに仮想現実（バーチャルリアリティ）があふれていることを認識する。それらのイメージを再構成して、独自のイメージとして表現することができる。 B2:1 ・幾つかの制作条件のもとで、理想の都市空間を豊かなイメージを膨らませて表現することができる。 E6:1 ・直線・曲線を使い分けて建造物と都市空間を表現することができる。 B2:1 			
	2.	デザインと描写 ー定められた空間の構成 着彩	(7)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でデザインする外形を決定する。 E6:1 ・指定された条件下で定型の形を生かして表現することができる。 E6:1 			
	3.	デザインと描写 ー定められた空間の構成 着彩	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインの的な色面構成の中に精密な描写をすることができる。 E6:1 ・制作に必要な資料を準備し、テーマに沿った表現が出来る。 E6:1 			
	4.	自由制作 着彩	(12)	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる絵画表現手段を用いて作品制作する。 B2:1 ・自分の定めたテーマを感性豊かに表現することができる。 B2:1 			
評価方法	自己のイメージをどのように豊かに表現出来ているか。学習内容の全実技作品を時間数の割合で点数化して評価（90%）（作品が授業時数に相応しい内容で完成。60%）、制作態度(10%)を考慮して総合的に評価する。						
履修要件	特になし						
関連科目							
教材							
備考	<p>自主的に美術館・ギャラリーなど鑑賞した際のレポートは、随時受け付けます。</p> <p>学習・教育目標との関係：(A)「社会と文化に理解を深め、他人の物の見方や考え方を知る。」</p> <p>(B) 自らのイメージを豊かに膨らますことで、型に入らない新鮮な発想とそれを表現する手段を養うことは、未来を担う技術者の育成に重要である。</p>						